

令和6年度 学び舎ひまわり第5講 開催報告

日時 令和6年 12月21日(土) 14時～16時

会場 港南公会堂ホール

受講生 28名(地域13名 企業2名 ケアプラザ1名 区役所12名)

卒業発表～マイプランの披露



だれもがみんな顔見知り！ほっこり、あったかなまちにしよう！

梅戸 美和(笹下地区)

子どもから大人、高齢者、障がいのある方、誰もが参加できる行事を通して、顔見知りの関係を作り、声のかけあえるまちにしたい。子ども会やシルバークラブ等、各部会と協力し合い、3世代ボウリング大会やボッチャ大会を開催し、新しい担い手につないでいく。



手作り音楽イベント「街ライブ」の定期開催

菊川 一廣(日下地区)

この街で生まれ、育ち、暮らすすべての人が、この街が好きで、「ふるさと」を実感でき、楽しくいきいきと暮らせる街になるよう、町内会館を会場とした「街ライブ」定期的に開催する。多世代交流と地域活動始めるきっかけ作り、会館利用の促進、仲間づくりなどの効果が見込まれる。



ギブ・アンド・テイ区！？港南区♡

中濱 舞(港南区商店街連合会)

地域の問題は地域で解決！しかし、必要な人が必要な情報にアクセスできるシステムがない。自身がお助けコーディネーターとなり、ホームページを作成し情報発信、SNSを活用し若い世代にアプローチするなど、双方向のコミュニケーションを実現する。



地域のバトンをつなぐ 知って・つないで・伝えられる

石川 雅史(日野地区)

町内会は担い手不足により、1年毎に会長および役員が入れ替わっているが、情報がまとまっていないため、引継ぎを受けても自身で少しずつ理解していく必要がある。地域の情報をデータ化等を進め情報の「見える化」をはかり、情報を漏れなく次に伝えることができるようにする。



町民みんなの防災体制～青少年の協力は大切～

遠藤 秀雄(下永谷地区)

町内にどんな人が住んでいるのか、お互いに知り合って、気楽に挨拶、言葉をかわせ助け合えるまちが理想。防災対策の組織づくりに、青少年のチカラをプラスし、災害時に青少年が任意で協力できる仕組みを作り、いざという時にそなえるため、関係づくりを進める。



アートギャラリーカフェ

杉野 萌日（日限山地域ケアプラザ）

地域づくりはつながり作り、ほんの些細な困り事でも口に出せるような居場所を新たに作れたら。地域住民の作品を展示し、集った人同士での講評会や作品を鑑賞しながらお茶を飲めるアートギャラリーカフェの開催を目指す。

内海コーディネーターのコメント



テーマ設定がみなさん上手になられたと思う。内容をきちんと反映して、短く自分の言わんとすることをテーマ化して発表するというのは、非常に大事な要素で、そこが良かった。

テーマに共通するところは、つながりづくり、特に多世代をつなぐこと。人と人をどうつないだらいいのか、音楽やカフェなどのツール、防災についても人のつながりがないと、いざという時に機能しないという意味合いを含めて、つながりの大切さが提案されたと感じる。

具体的で、実現性もそれなりに強いので、地域と意見交換しながら、みなさんと合意のプロセスを経て、実現していくことを願っている。

受講生による「ひとこと振り返り」

第1講から第4講まで講座内容を振り返り、受講生の皆さんそれぞれの思い出をうかがいました。



荻久保副校長の感想

受講生のみなさんが色々なことをたくさん考えながらやっているなということがわかります。これからも活発に動いてくれたら最高だなと思いました。

栗原副校長の感想

港南区では協働による地域づくりを基本理念としています。平成 25 年に当時の高森区連長（現顧問）が提唱して頂き、始まったわけです。それから 10 年以上が経っているわけですが、この「学び舎ひまわり」で毎年毎年地域の課題を自分で見つけて、処方箋のマイプランを作っていただく、この「学び舎ひまわり」があるから、協働の地域づくりが色あせないんだなといつも思います。

10 期から企業のみなさんにも受講していただいているのですが、12 月 1 日に始まった災害時に区内の企業のみなさんが地域防災に協力する仕組み「こうなん災害時協働隊」は 10 期の企業卒受講生の方のマイプランが実現したものです。今期のマイプランも皆さん協力して実現に近づいていただきたく思います。



卒業式

古屋校長のお話



卒業生の皆さんおめでとうございます。おかげさまで今年度も全講つつがなく終了することができました。

皆さんの作られたマイプランを聞き、地域の様々な課題に真摯に向き合ってくださっているのを感じ、本当に心が晴れました。何をおいても自分たちの地域を思ってくださっていることが伝わってきました。

31 名の卒業生の皆さん同士これからも絆を深め、横の連携を取っていただきたいと思います。既に学び舎の卒業生の皆さんは大勢地域で活躍されていますので、先輩たちとも連携し、ネットワークを広げていってほしいと願っています。

高森名誉校長のお話



卒業されたみなさん、誠におめでとうございます。

今年は能登で大きな地震が発生しました。大きな災害の復興時は自治会町内会の役割が重要になっています。地域でできることはまず自分たちで協力し、できないことを行政に担ってもらう。行政が地域のパートナーとして一緒に取り組んでもらう「協働による地域づくり」が、非常に大切だと思います。

卒業生となった皆さんには、これからも地域活動において、この「協働による地域づくり」の考え方を活かしていただき、次代を担う子どもたちに「ふるさと港南」を引き継いでいけるように活躍されることを期待しています

卒業生代表のあいさつ

植野 俊雄さん（ひざり地区）



我々1つの地区の中で活動している方がほとんどなのですが、そうしますと他の地域の方との交流の機会になかなか巡り合えません。今回学び舎ひまわりを受講し、他地区の地域活動者と接することが出来たのは大変な収穫でした。

本日マイプランの発表を無事することができましたが、卒業を機会に、発表した内容について実現に向かって進んでいきたいと思っています。一気に実現にはならないかもしれませんが、少しずつ形作っていきたくらいと思っています。その際には、ぜひ地域のみなさまのご協力が必要ですので、連合町内会長さん含めて、各自治会等のご協力をお願いしたいと思っております。

学びのまとめ 集計結果

回答数 24件 / 回収率 85.7%

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
20	4	0	0	0
83%	17%	0%	0%	0%

受講生の声（抜粋）

- ◎久しぶりに卒業生となり、新鮮な気持ちになった。
- ◎発表された方々の熱心さにわが町への思いを感じた。今回受講できたことに感謝している。
- ◎第1講から第4講を振り返りできたことが良かった。卒業生発表も第4講よりブラッシュアップされていて、わかりやすくなっていた。他の自治会町内会の皆様の取り組みを少しでも取り入れたいと思った。
- ◎発表を通じて区商連の存在をアピールできてよかった。地域の問題を地域で解決できるまちづくりのヒントをたくさんもらった。（企業）
- ◎振り返りインタビューでは、地域の皆さんの自分のまちをよくしたいという熱い思いが伝わってきた。（職員）
- ◎マイプランの発表が本当にすばらしかった。本気で地域のことを考えていることが伝わった。（職員）

